



東京都港区海岸一丁目2番20号
汐留ビルディング3階
株式会社LTTバイオフーマ

News & Information

2021/5/24

〔LT-1001 (PC-SOD) 新適応に関する特許出願に関するお知らせ〕

LT-1001 (PC-SOD) は、当社独自の薬物送達技術を用いて調製されたタンパク製剤です。SOD は、スーパーオキシドジスムターゼと呼ばれる生体に存在するタンパク質であり、生体において過剰に産生されると有害である活性酸素を消去する働きがあります。しかしながら、SOD を生体に投与した場合、数分で尿中へ排泄されるため、十分な薬効を示さないという問題がありました。PC-SOD は、SOD をフォスファチジルコリン (PC) で修飾することにより生体内安定性を改善させた当社独自の製剤です。これまで、本製剤の薬効を探索するため基礎研究を進めてまいりましたが、今般、抗がん剤治療に伴う副作用として問題とされている化学療法誘発性末梢神経障害 (CIPN) に対し、動物試験等において本剤の有効性を認めたことから、2021 年 5 月付けで特許申請を行いましたのでお知らせいたします。

LT-1001 (PC-SOD) の新たな適応症として考えています CIPN は、がん治療において使用される抗がん剤投与によって誘発される末梢神経障害で、抗がん剤治療に伴う副作用の一つです。現在、CIPN に対し承認された薬剤はありません。そのため、治療中に CIPN が発症した場合、抗がん剤投与の中止や減量などの処置がとられるため、がん治療自体の継続が妨げられるといった問題が生じており、その治療薬が求められている疾患です。

現在、抗がん剤の中でも CIPN の発症頻度の高いオキサリプラチンを用いて得られた今回の特許出願の内容を基に本年 7 月頃の臨床試験の開始 (治験届の提出) に向け、管轄する規制当局と治験実施に向けた相談を行いながら臨床プロトコールの作成を進めております。

以上